



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2014年(平成26年)7月5日号 No.1632

目次

■ 機械要素技術展とロシア企業のビジネス	渡邊 光太郎 1
— 現状と将来の可能性 —	
■ 統計速報	7
2014年1～5月の日本の対ロシア・NIS諸国輸出入通関実績 / 7	
2014年1～5月の日ロ貿易 / 8	
■ エトセトラ	9
ROTOBO月例報告会「ロシア税法と日本企業の直面する問題」 / 9	
西岡会長がロシア政府から感謝状授与される / 10	
■ トピックス	10
グルジア・ビジネスセミナーのご案内 / 10	
日立建機のロシア建機工場稼働 / 11	
ニッコーのロシア子会社が本稼働を開始 / 11	
ルノー / 日産、AvtoVAZの経営権取得を完了 / 11	
豊田通商、カザフ農業法人に資本参加 / 11	

機械要素技術展とロシア企業のビジネス — 現状と将来の可能性 —

ロシアNIS経済研究所 研究員
渡邊 光太郎

はじめに

6月25日から27日まで東京ビックサイトで機械要素技術展が開催された。同展は素材、加工、部品、機器など製造業を支える技術をテーマとする日本最大規模の展示会で、製造業における取引先開拓、技術動向の情報収集のための展示会として名高く、多くの技術者、購買担当者が訪れる。出展業者としては、実際の発注を左右する担当者が訪れるので絶好の売り込みの場となる。例年6月に開催され今年も6月25日から27日まで開催された。チタン製造の世界最大手として知られるロシアのVSMPO-AVISMA社も機械要素技術展に出展しており、機械要素技術展をロシア企業もビジネスに活用するようになった。とはいえ、ロシアからの出展は同社に留まり、アジア諸国の出展者と比べ存在感がないのも事実である。今回は機械要素技術展の性質、ロシア企業の出展の少ない要因と今後の可能性に関する考査、最後に機械要素技術展と同展で聞いたVSMPO-AVISMAの日本ビジネスについて紹介する。